

公立保育園への保温庫(フードキャビ)の設置

市内の公立保育園の3歳以上児は、副食は自園調理で温かい給食が提供されますが、主食のご飯は各家庭から持参していただいています。

以前より、保護者の方から「冬期間の給食で温かいご飯を食べさせたい」というご意見もあり、このたび公立保育園の3歳以上児の全クラスに保温庫(フードキャビ)を導入して、持参したご飯を容器ごと温め、冬期間(12月～3月)、給食時に温かいご飯が食べられるようになります。

記

- | | |
|------------|----------------|
| 1 開始日 | 令和5年12月1日(金) |
| 2 実施する施設 | 市内の全公立保育園(11園) |
| 3 保温庫使用期間 | 12月～3月の給食提供期間中 |
| 4 保温庫導入の概要 | 別添「保温庫導入の概要」参照 |

本件に関する問い合わせ先

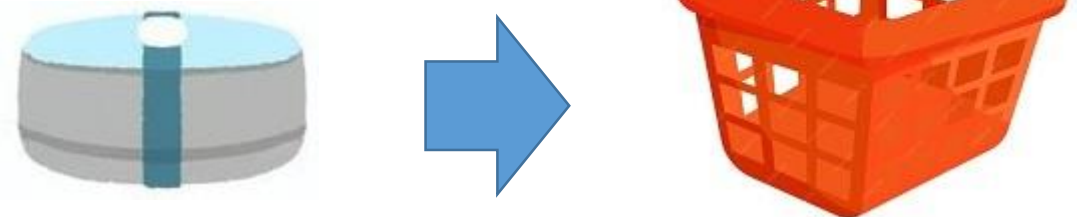
千曲市次世代支援部 保育課 保育施設係 (課長)齊藤正樹 (担当者)寺澤孝一
電話(代表)026-273-1111(内線1235) メールアドレス hoiku@city.chikuma.lg.jp

保温庫(フードキャビ)導入の概要

- ・ 3歳以上の園児に冬期間（12月～3月）、温かいご飯を提供するため、保温庫を導入します。（公立保育園全11園）
- ・ 購入した保温庫は43台（3歳以上児の全クラス）
- ・ 保温庫はロッカーの上に設置し、2種類のサイズがある。
- ・ 保温庫の使用方法は下記のとおりです。

【保温庫使用の流れ（一例）】

- ①朝、登園後に弁当箱を回収（買い物かご等）



- ②ロッカー上に設置した保温庫に入れて
スイッチオン（設定温度は70～80℃）



- ③給食約30分前に保温庫から出して冷ます
（スイッチオフ、軍手等着用）

- ④給食時に園児に配る（又は自分で取りに来る）

【園児の弁当箱】

保護者への通知のなかで耐熱仕様（アルミ製やステンレス製等）の弁当箱を使用し、布ゴムと本体に記名をするように通知してあります。



保温庫に入る弁当箱の目安

約18個収納
(PC-15S)



約30個収納
(PC-28)

